



高陵山 光明寺寺報 創刊号

平成 28 年 3 月 発行

発行 石狩市八幡町高岡 16-2 光明寺内



左写真
改修された
本堂と納骨
堂の新しい
向拝

下、旧向拝

～ 寺報発行にあたり ～

この度、門信徒の皆様に向けて光明寺についてお伝えする手段として、寺報発行を思いつき、この度「光明寺寺報」を創刊発行させていただく事と致しました。昨今、「寺離れ」という言葉を耳にする度に何とも言われぬ寂しさを覚えます。その「寺離れ」の流れを食い止めるには「旧来のお寺側が待つ姿勢ではなく、お寺の側から発信をする時代だ」という結論が同行の多数意見でした。光明寺としましてもその意見に至極賛同し、その為にはどんな方法が有ろうかと思案を巡らした結果、まずは寺報という形でお寺の動きをお伝えし、息吹を感じてもらえれば大変有り難いことと思うに至りました。特に光明寺のご門徒はお寺との結びつきは強固である半面、離農地域でもありご門徒の在住地域が多岐にわたり、お寺の活動が伝え難い一面があります。高岡に住む人々、高岡から離れ行く人々、元々高岡に縁のない人々、様々な御門徒の皆様と「高岡」そして「光明寺」との橋渡しをこの光明寺寺報が一助になればとても嬉しく、年に数回の発行を目指しておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



本堂向拝改修工事の浄財御寄進の御礼

門信徒の皆様には当寺本堂向拝改修工事に対し格別なる御高配の上、過分なる御浄財を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。

報恩講の日中法要を「新向拝竣工慶讃奉告法要」と併修させていただきましたこと御報告を申し上げます。

昨年度の宗祖聖人報恩講の御勝縁を新しい向拝、玄関と共にお迎え出来ましたことは偏に皆様のこの上ない御理解の賜物と深謝申し上げます。当寺住職並びに門徒総代一同、より一層愛山護法の念を旨に文化施設としての役割を全う出来ますよう、生きたお寺を目指すべく微力ながらも精進努力怠る事無く邁進してゆく所存で御座いますので、門信徒の皆様には今後共変わらぬ御協力とおひとりでも多くのお参りを賜りますよう伏してお願い申し上げます。



本堂向拝解体法要 8/31





老朽化の納骨堂階段も別工事で改修

第2庫裏玄関 段差をつけ水溜りを解消



本堂窓の交換立

新しい納骨堂改修に伴い地蔵堂を前庭へ移設



タイルを貼り手すりを設けました

本堂正面に本堂幕のお飾り

お陰さまで有難うございました。今後とも皆様のお寺へお参り下さい。

赤平市 法導山本恵寺前住職 西井芳信師御往生

智照院釋芳信 平成27年9月15日往生 行年76歳

当寺前住職の実弟で現住職の叔父である赤平市本恵寺前住職、西井芳信師が御往生されました。昭和14年高岡に生まれ、昭和42年に真宗の御法義を伝道するべく無住のお寺であった赤平市平岸の本恵寺に入寺し第3世住職に就任されました。当時の事を聞きますと、誰もが猛反対する程の荒れ寺であったそうですが、持ち前の超人的な精神力で法務に、塾の講師にとその身を粉にするが如く働き生活基盤を確立し、ほぼ独力でお寺を立て直し、現在の発展を遂げました。同級の方にお話を聞きますところに、青春時代はかなり「やんちゃ」だったそうですが、光明寺へも布教師としてお越しいただき熱心に御法話を戴く姿を見ては「人間の過去とはわからんものだな」と

思ったものです。ここ20数年は闘病の生活でしたが、そのような中でも布教使としての情熱を持ち続け、本山にも布教に出講されたこともありましたが、話は変わりますが、ひょっとしたら私は叔父の実子なのでは?と思うほど厳しく叱られた事がまず思い出されます。しかし一方で平素より何かと気にかけて頂き、多忙な父に代わり遊びに連れ出してくれるのが叔父でした。私の心を見透かしたようにニヤリと笑う表情も忘れられません。寺葬には当寺の総代始め、壮年会と婦人会の各会長、有縁のご

門徒の総勢9名もの皆様に遠路御足労を戴き、お焼香を賜りました事、そして当寺門信徒一同様より本恵寺様へ御香儀を賜りました事を親戚寺院と致しまして厚く御礼を申し上げます。

光明寺住職

左写真

茶毘に付されお骨となって御安置されました。左の写真右上に光明寺の前々坊守と前住職の写真が見えます。親子3人お浄土へ往かれました。



平成27年度宗祖聖人報恩講法要修行

平成27年10月22～23日の二日間にわたり真宗寺院にとって一番重要な「宗祖聖人報恩講」が修行されました。役員、当番地区、壮年会や婦人会等の有縁の皆様には前日の準備より御尽力を戴き、厳粛且つ無事に修行されました。ご布教には遠く初山別村より信楽寺御住職の吉川昭恵師にお越し頂き、沢山のご法中（御住職の皆様）もお見えのなか仏徳讃嘆を賜り、僧俗共々に親鸞聖人のご遺徳を偲ばせて戴きました。初日のお日中法要から始まり、夜には門



信徒や地域の有志のご婦人により「手踊り」が披露され、その後は皆さんで恒例の「外れ無しビンゴ大会」で盛り上がり、最後は何故かじゃんけん対戦に移行しながら景品を手在家路につく人、年に一回お寺に宿泊の方と思い思いに過ごして



戴きました。又、例年の通り「納骨堂総追悼法要」も勤まり亡き御先祖のご苦勞に感謝の中、お念仏を戴きました。二日目は午前10時より満座を迎え、布教師様と御法中に御出勤の御礼を申し上げ無事に全日程を終えました。報恩講は皆様より賜りました護持会費により修行させて戴いていますので、今後益々沢山のお参りをお願い申し上げます。

帰敬式受式の報告



昨年10月、御蓮枝（浄土真宗8世蓮如上人の末裔）の大阪府顕証寺様（左写真）が下向され、札幌別院報恩講の際に帰敬式の御勝縁に恵まれ当寺より中村晴雄さん、ミエさんご夫妻、宮北文子さんの3名が受式され仏弟子としてのお名前である法名を賜りました。法名とは亡くなってから戴く

のではなく、真宗門徒として生前に戴く事が本来の有るべき姿なのです。受式を記念し当寺報恩講の折に受式の御報告を申し上げます。今後機会が有りましたら御案内を申し上げますので未受式の方は是非受式をご検討下さい。



光明寺仏教壮年会創立 30 周年記念事業

光明寺仏教壮年会は会員相互の研鑽と親睦を目的に昭和 60 年 2 月に正式に結成し北海道教区へ単位登録を果たしました。爾来、門信徒の皆様の御理解の上に 30 年を経過し、平成 27 年 3 月 29 日に光明寺の御尊前にて当会創立 30 周年記念法要と式典を、場所を移し祝賀会を執行させて頂きました。当日は総代及び仏教婦人会会員と当会会員を實質にお世話をされている奥さんにもお声掛けし、多数の御来賓を賜り厳粛且つ盛大に開催されました。当会は現在 12 名の会員が在籍し 11 月より 3 月迄の毎月の例会を非常に和気藹々として行っております。会員一人一人が仏参を欠かさぬ事が仏様と御先祖様への報恩に繋がる事と感謝のうちに活動を展開していますので、我こそ壮年と思われる方にはどうぞご入会下さいませよう声を大にしてお誘いを申し上げます。最後にこの度の記念事業の一環としまして住職自ら所望していました「屋外用伝道掲示板」の御寄贈を賜りました事に深く感謝を申し上げます。



光明寺仏教壮年会創立 30 周年



寄贈戴いた掲示板。設置作業までお願いしました。

日帰り研修旅行 平成27年6月28日

昨年の日帰り研修旅行は総勢27名で仁木、小樽と札幌の證誓寺様へ行って参りました。本堂で出発のお参りの後、一路仁木町の「キノコ王国」へ向かいました。買い物や腹ごしらえを済ませ、小樽祝津の「旧青山別邸、小樽貴賓館」(右上)を見学の後昼食を戴きました。青山別邸の歴史的な邸内にも目を見張るのは勿論ですが、同時に長期間に亘りその文化と建造物を維持する事の尊さと大変さを思うと、お寺の護持にも通じる部分があることを改めて認識させられました。次に小樽市内のメルヘン通り界隈で自由散策、かまぼこで有名な「かま栄」でお土産を買い込む方もいました。最後は当寺と報恩講のお付き合い寺院でもある札幌市西区の證誓寺様(右)を参拝しました。御住職よりお寺の縁起等を聞かせて頂き、荘厳なる堂内を隈なく見せて下さいました。御寺族の皆様、婦人会の皆様に身に余る歓待を賜り恐縮のままお寺を後にしました。



帰りのバスの中では景品争奪のくじ引きや、余った飲み物を賭けてジャンケン大会で大変盛り上がりながら全員無事に光明寺に到着、解散となりました。行程を企画しては見たものの果たして満足して貰えるか不安な面もありましたが、皆様の御協力により大変有意義な時間を共に過ごさせて戴きました。本年も下記の通り予定していますので沢山のご参加をお待ち申し上げます。



有意義な時間を共に過ごさせて戴きました。本年も下記の通り予定していますので沢山のご参加をお待ち申し上げます。



今年は6月25日(土)に空知方面へ寺院参拝と温泉を予定しています。朝8時にお寺を出発し、帰りは午後6時過ぎ頃になります。途中途中で休憩を挟みながら、寺院参拝とはいえ決して堅苦しい事の無い研修旅行です。旅費はお一人6,000円程の予定です。詳細は後日皆様へ御案内を申し上げますが、今回はなるべく歩かなくて済む行程を企画していますのでご参加の程ご検討下さい。

平成 28 年度のご法座、行事予定

平成 28 年		
4月23日(土)	午後 1 時	春季 永代 経法座
6月21日(火)	午後 1 時 30 分	けんしんだいしごうたんえ 見真大師降誕会 石狩真宗連合寺院出勤、お齋のご接待
6月25日(土)		日帰り研修旅行、空知方面
8月16日(火)	午後 1 時	うらぼん 孟蘭盆 納骨堂法要
8月16日(火)	午後 1 時 30 分	うらぼんえ 孟蘭盆会 法座
10月21日(金)	午後 1 時	報恩講 前日準備
10月22日(土) ~23日(日)		しゅうそしんらんしょうにんほうおんこう 宗祖親鸞聖人報恩講 (日程等は後日御案内いたします)
10月22日(土)	午後 1 時 30 分	納骨堂 総追悼法要
11月中旬	(日程未定)	秋季 永代 経法座
平成 29 年		
1月15日(日)	午後 1 時	宗祖親鸞聖人御正忌法座 <small>ごしょうき</small>
1月16日(月)	午前 11 時	宗祖親鸞聖人御正忌法座満座 お齋のご接待
1月16日(月)	午後 1 時 30 分	光明寺 定期総会、新年会

門信徒一人一人の、皆様のお寺です。自分一人のための仏縁に出会いましょう。皆様のお参りをお待ちしております。

後記 最後までお読み頂き有難うございました。読みづらい点等有ったかと思いますが初めての試みという事でどうか御勘弁願います。

文責=住職です。